

「水と森づくり」
作文コンクール入賞者決まる

足柄ロータリークラブ(担当院長)は環境保全に関する活動を続けてきましたが、今年度の事業として次代をになう小・中学生に環境保全についての意識を高めていただくことを目的に「水と森づくり」作文コンクールを行った。

南足柄市教育委員会に熱心なご後援をいただき、南足柄市内の小学4年生から中学3年生までを対象として129点の応募をいただき、このたび入賞者を次のように決定した。

- 【小学校の部】
最優秀賞・露木由美(向田小)
優秀賞5名、佳作2名
努力賞73名
- 【中学校の部】
最優秀賞・井上香澄美(岡本中)
優秀賞5名、佳作1名
努力賞41名

作文は子供達がいかに真剣に考えているか、また学校での授業や体験による成果がよくわかり、環境問題に対する意識の高さが感じられ、大人の責任についても痛感させられるものだった。

院長

水と森づくり作文コンクール

中学生の部 最優秀賞作品



「小さな願い」

岡本中学校一年 井上香澄美

南足柄市の真中を通る狩川は、今日も大きく長くそして静かに流れている。この河の水は奥深い山々の、森の中の地下水が少しずつゆつくりと湧き出し水源を作り、小さな沢となり川へ流れ出している。

私が住んでいるこの街は森林に恵まれ水も豊富にあり、水不足や取水制限といったことには縁がないと思っていた。しかし、最近になり私達が使用している水道料金の中に、森林を守るための料金を上乗せするという新聞記事を読んだ。

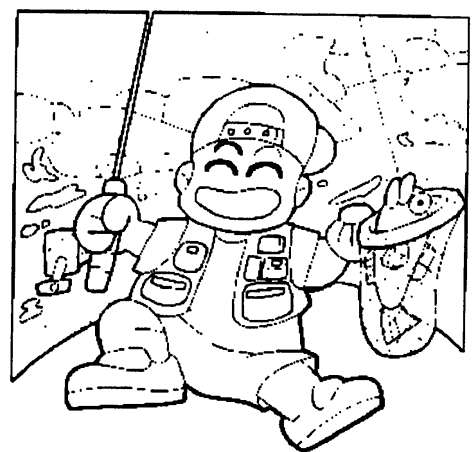
水を得るためには森が必要で、その木を守るためにはお金が必要ということだ。私達の大切な森に何が起きているのだろうか。自然が豊

富にあると思っていたこの街にも開発の手は確実に忍び寄りつつあるのだろうか。

人間は、たくさんのもを生み出し文明を築きあげた。そして、便利な所に広い土地を求め木を切り倒し山の斜面を削り住宅地を作った。

人が増え自然は破壊され安全な水を求めて、遠くの村や町から水を引かなければならなくなった。私の街もその中の一つで、川崎市や横浜市といった大都市へ水を供給している。

私が幼い頃住んでいた横浜市は、多くの工場やデパートが立ち並び、進んだ医療設備やそこで働くたくさんの人達がいる。そしてこれらの場所でも水の役割りは大きく、絶対に切り離すことはできない。これから先どの分野でもますます水を使っている開発が進むのではないだろうか。特に医療などは安全な水を使って、細かい手術など水に頼る所は大きいと思う。



多くの産業や人々が使う水を作り出すこの街は、大都市を支えている重要な街といつてよいだろう。従って、そこに住む私達の役割りは大きく責任は重い。

山は、私達の生態系にも関係している。だからこそ、今ある木を守り森と共存することが大切だ。私達子供でも、山に行き、簡単な道具を使う仕事ならできる。大人も子供も一緒に森作りに関心を持ち、これからの林業を考えたい。

森を育て水を作るといふことは、人を育てることと同じだと思う。

この南足柄市を、水と森を守る発信地として世界中へネットワークを広げ、緑の地球を作りたい。

2020年には宇宙旅行ができるという。その時の地球が、昔、ガガーリンが見たような青い地球のままであるように。

みなさんの疑問や投稿を

お待ちしております。

★受付けからのお願い

月初めには必ず保険証を

受け付けにお出し下さい。

診察券は毎回お持ち下さい。

1月・2月の休診日

(日曜・祭日)

水曜・土曜・第一火曜午後)

1月13日(火) 午後

1月20日(火) 午後

